

令和元年 5 月 14 日

【中間貯蔵・環境安全事業株式会社 環境配慮の取組（RE30）】東京 PCB 処理事業所で使用する電気の調達（令和元年 8 月～令和 2 年 7 月）に関する事業者の決定について

中間貯蔵・環境安全事業株式会社は、基本理念と行動指針において掲げているとおり、全ての事業活動の中で良好な環境保全を優先する環境企業を目指しています。

取り組みの一環として、当社東京 PCB 処理事業所における次期電気調達（令和元年 8 月～令和 2 年 7 月）にあたり、「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の要件を満たす再生可能エネルギー電気の供給比率 30%※を要件として一般競争入札（WTO 政府調達）に付したところです。

今般、当該再エネ電気を供給する事業者が東京電力エナジーパートナー株式会社に決まりましたので報告します。

（契約内容）

電 圧	60,000V
契約電力	7,000kW
予定使用量	44,106,600kWh／年

※ RE100 事務局が推奨する中間目標である、2020 年：30%、2030 年：60%、2040 年：90%（最終的には 2050 年：100%）を視野に置いて、再エネ率 30%の電気を調達することとしました。

（参考）RE100 とは、企業が自らの事業の使用電力を 100%再エネ電気で賄うことを目指す国際的なイニシアティブです。